

2023年9月15日

受益者および投資家の皆様へ

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

サテライト投資戦略ファンド(株式型) <愛称:サテラップ(株式型)>

実質信託報酬率レンジの変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社が設定・運用しております「サテライト投資戦略ファンド(株式型) <愛称:サテラップ(株式型)>」(以下、「本ファンド」といいます。)につきまして、下記のとおり実質信託報酬率(\*)レンジの変更を行う予定です。

皆様におかれましては、本件変更の趣旨をご理解いただき、引き続きご愛顧賜りたくよろしくお願い申し上げます。

(\*) 本ファンドの信託報酬率と投資対象ファンドの運用管理費用を合計したものです。

敬具

記

1. 経緯および趣旨

- (1) 本ファンドにおいては、投資対象ファンドの入替や組入れ比率の変更を行いながら運用改善を適宜実施しているため、実質信託報酬率は随時変動しています。例えば、投資対象ファンドの入替を行う際には、入替対象ファンドの運用管理費用、リターン、リスク等を考慮して検討します。そのため、入替後に運用管理費用が高くなるとしても、それを上回るリターンが期待できるのであれば入替を実施します。こうした商品改善を行った場合、実質信託報酬率は上昇することになります。
- (2) 上記の運用を続けてきた結果、現在の実質信託報酬率(各投資対象ファンドの配分比率計画値ベース)は、目論見書記載の実質信託報酬率レンジの上限値に迫っている状況です。

	実質信託報酬率	レンジ上限値	差異
税込	年 1.93894%	年 1.95965%	▲0.02071%
税抜	年 1.76824%	年 1.80130%	▲0.03306%

- (3) 現状のままの運営では、実質信託報酬率の制約から魅力的なファンドを新たに組み入れることができない事態や、資産配分比率や各ファンドの組入れ比率を機動的に変更できない事態の発生が懸念されます。弊社といたしましては、今回の実質信託報酬率レンジの変更によってそうした問題点を極力解消し、より良い運用成果を積極的に追求してまいりたいと考えております。

2. 変更内容（実質信託報酬率レンジ：目論見書上の〈ファンドの費用〉「実質的な負担」）

変更後（新）	変更前（旧）
純資産総額に対して 年率 1.628%～ <b>2.18965%</b> 程度（税抜 1.48%～ <b>2.0013%</b> 程度）  *この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入れ状況により変動します。なお、投資対象ファンドによっては、別途運用実績に基づき計算される成功報酬額がかかる場合があります。	純資産総額に対して 年率 1.628%～ <b>1.95965%</b> 程度（税抜 1.48%～ <b>1.8013%</b> 程度）  *この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入れ状況により変動します。なお、投資対象ファンドによっては、別途運用実績に基づき計算される成功報酬額がかかる場合があります。

- ※ 本件は本ファンドの信託報酬率を変更するものではありません。本ファンドが「投資対象とする投資信託証券」の運用管理費用の範囲を、現行の「年率 0.0%～0.33165%程度（税抜 0.0%～0.3213%程度）」から「年率 0.0%～0.56165%程度（税抜 0.0%～0.5213%程度）」に変更するものです。これにより、上記のとおり実質信託報酬率レンジが変更となります。

3. 変更日

2023年11月18日（次回目論見書定例改版日）

以上